



広 い 心

学校便り 11号
令和7年 10月16日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武真史

十五夜(豊年祭)を盛り上げる



10月6日(月)、狩俣の地域行事である「十五夜(豊年祭)」が盛大に行われました。狩俣小学校としても「地域行事を盛り上げたい」という子供たちの思いを受け、授業の中で取り組んで来ました。

まず、1,2年生は生活科で無病息災を願いながら「マーニ」を作りパレードに参加しました。マーニ作りの指導をしてくださったのは、前老人クラブ会長の池間豊さんです。3,4年生は総合的な学習の時間の探究活動の中で、五穀豊穡を願う「ふきゃぎ(ふちゃぎ)」に関心をもち、「自分たちも願いを込めて作ってみたい」となりました。指導してくださったのは狩俣信子さんです。自分で作った「ふきゃぎ」に大喜びの子供たちでした。パレードでは、子供神輿で祭りを盛り上げることができました。5,6年生は総合的な学習の時間の探究活動で、年々参加者が減少傾向にあること、十五夜の歌を知らない人が増えてきていること(狩俣小の8割以上の児童は知らなかった)を知りました。そして、「子供の参加者を増やすために『子ども綱引き』を企画したい」や「十五夜の歌を継承していくために、祭りの中でみんなで歌いたい」と地域の伝統文化を継承していくためのアイデアを出し合いました。その後、提案書をまとめ自治会の話し合いに参加させていただき、十五夜のプログラムに入れてもらうことができました。自分たちでマイクをもって「子ども綱引き」を進行し、「十五夜の歌」を歌いながら会場を盛り上げ、「神輿」を上げることができた5,6年生は「自分たちの力で地域行事を盛り上げることができた」という達成感に満ちた表情をしていました。

その他、エイサーの演舞を披露することもでき、地域行事に参画し祭りを楽しむことができた子供たち。「地域に誇りを 自分に自信を」という狩俣小学校のスローガンにぴったりな十五夜(豊年祭)となりました。

